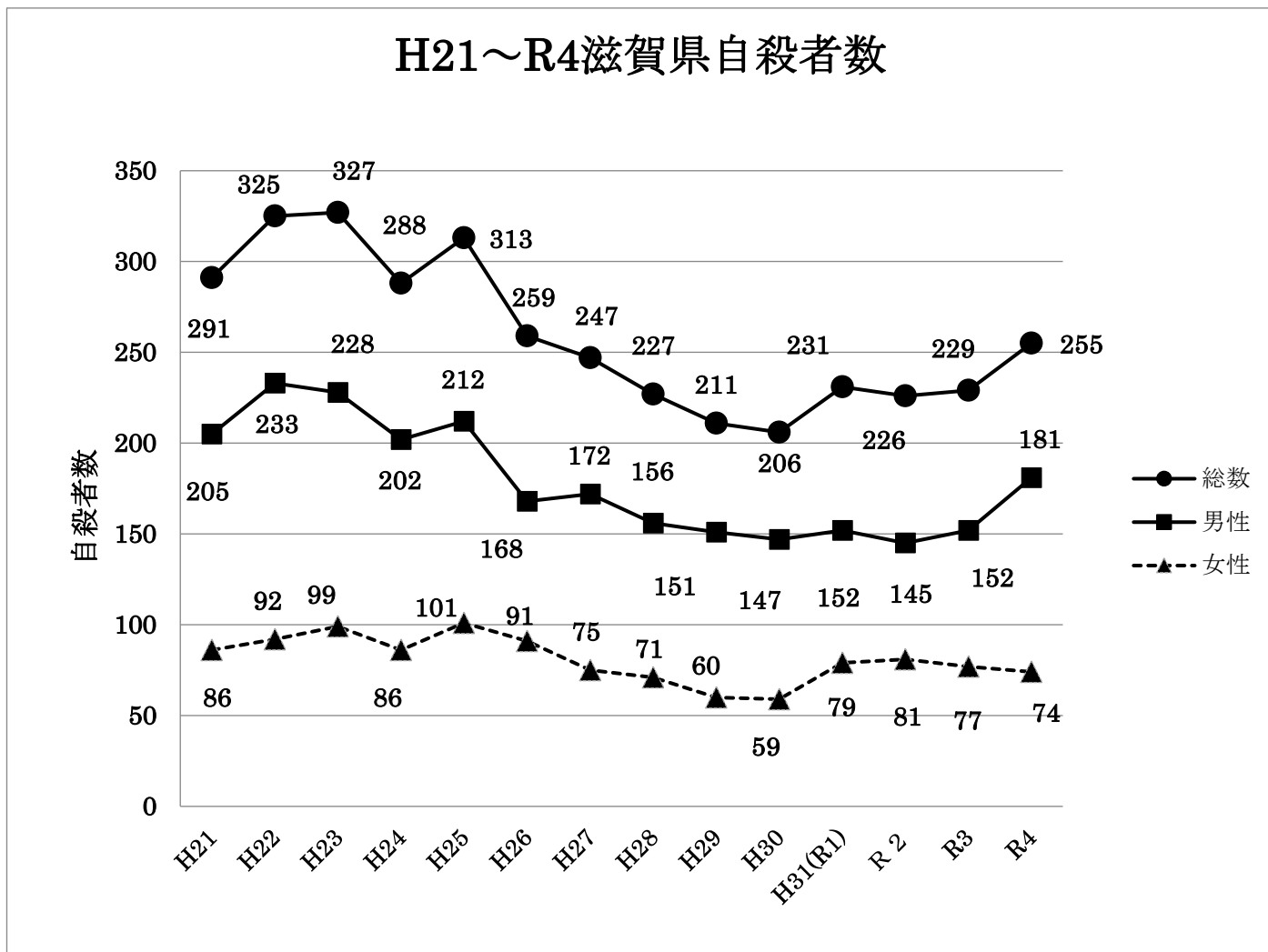


■ 滋賀県の自殺者について

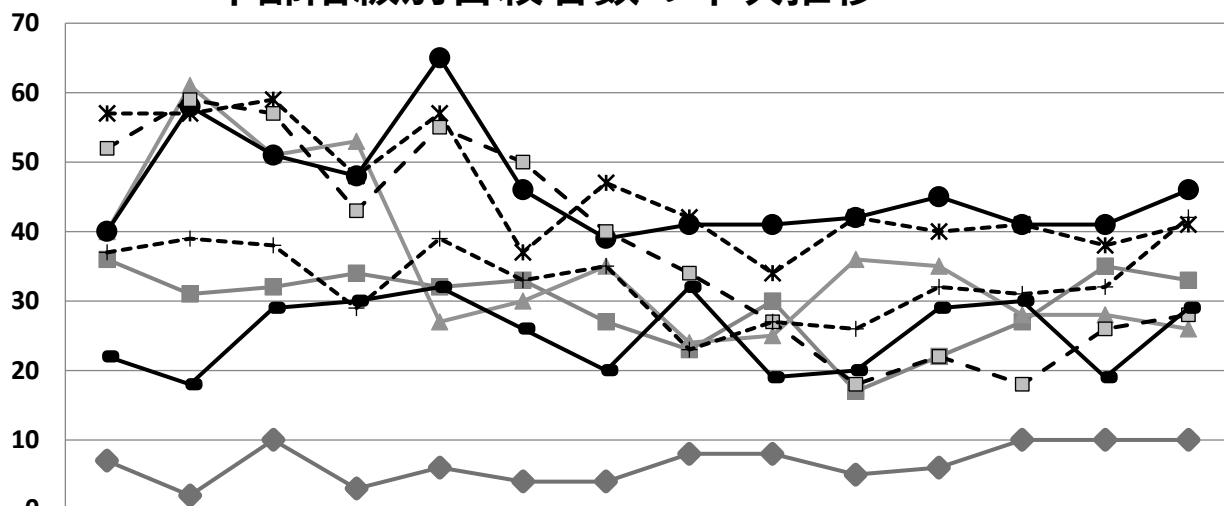
滋賀県の自殺者は平成 25 年からは緩やかな減少傾向を維持し、200 人台で経過しています。令和 4 年は 255 人となり、2 年連続の増加となっています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

年齢階級別自殺者数の年次推移

(人)



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4
◆ ~19	7	2	10	3	6	4	4	8	8	5	6	10	10	10
■ 20~29	36	31	32	34	32	33	27	23	30	17	22	27	35	33
▲ 30~39	40	61	51	53	27	30	35	24	25	36	35	28	28	26
● 40~49	40	58	51	48	65	46	39	41	41	42	45	41	41	46
* 50~59	57	57	59	48	57	37	47	42	34	42	40	41	38	41
□ 60~69	52	59	57	43	55	50	40	34	27	18	22	18	26	28
+ 70~79	37	39	38	29	39	33	35	23	27	26	32	31	32	42
● 80~	22	18	29	30	32	26	20	32	19	20	29	30	19	29

地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 令和4年死因順位別にみた年齢階級別死因割合

44歳までの死因の1位は自殺であり、59歳まで自殺が第3位に入ります。

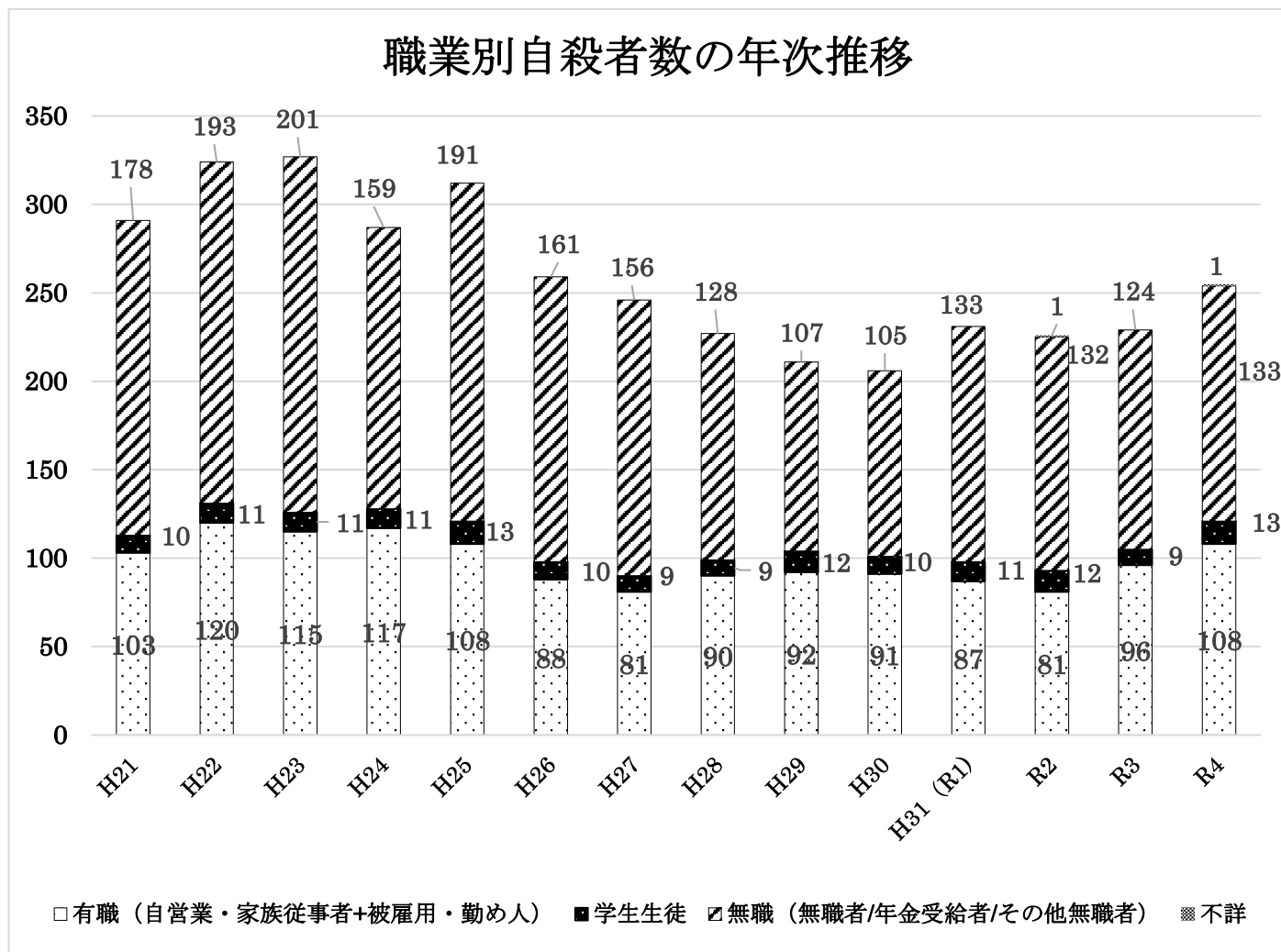
年齢階級	1位	率	2位	率	3位	率
10～14歳	自殺	50.0%	悪性新生物	25%	不慮の事故	25%
15～19歳	自殺	42.9%	不慮の事故	21.4%	心疾患 (高血圧性を除く)	14.3%
20～24歳	自殺	71.4%	不慮の事故	7.1%	悪性新生物	3.6%
25～29歳	自殺	63.2%	悪性新生物	21.1%	心疾患 (高血圧性を除く)	5.3%
30～34歳	自殺	58.3%	悪性新生物	16.7%	心疾患 (高血圧性を除く)	4.2%
35～39歳	自殺	31.1%	悪性新生物	17.8%	心疾患 (高血圧性を除く)	15.6%
40～44歳	自殺	28.2%	悪性新生物	22.5%	脳血管疾患	14.1%
45～49歳	悪性新生物	29.6%	自殺	20.8%	心疾患 (高血圧性を除く)	11.2%
50～54歳	悪性新生物	41.1%	心疾患 (高血圧性を除く)	15.6%	自殺	9.9%
55～59歳	悪性新生物	44.7%	心疾患 (高血圧性を除く)	15.2%	自殺	7.8%
60～64歳	悪性新生物	44.4%	心疾患 (高血圧性を除く)	13.2%	脳血管疾患	7.6%

人口動態統計より精神保健福祉センターが作成

※死因順位は死亡数の多いものからとなっているが、同数の場合は、死因簡単分類コード順に記載した。

■ 職業別自殺者数

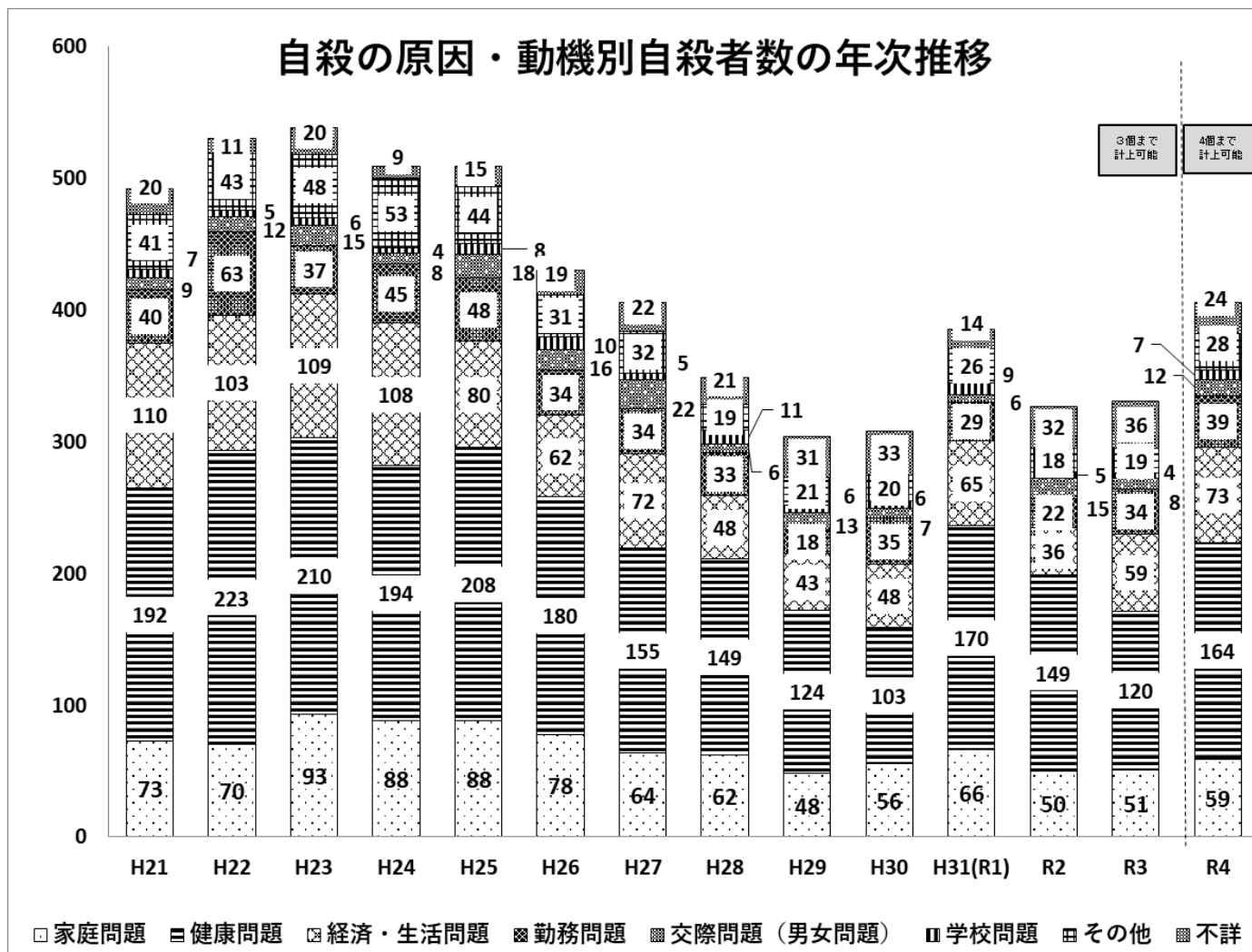
職業別の自殺者でみると、令和4年は有職者108人に比べ無職者が133人と多く、経年の変化をみても、有職者に比べて無職者の自殺者が多い傾向となっています。また学生・生徒の自殺者数は横ばい傾向であり、令和4年は前年に比べて4人増えています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

原因・動機別自殺者数の年次推移

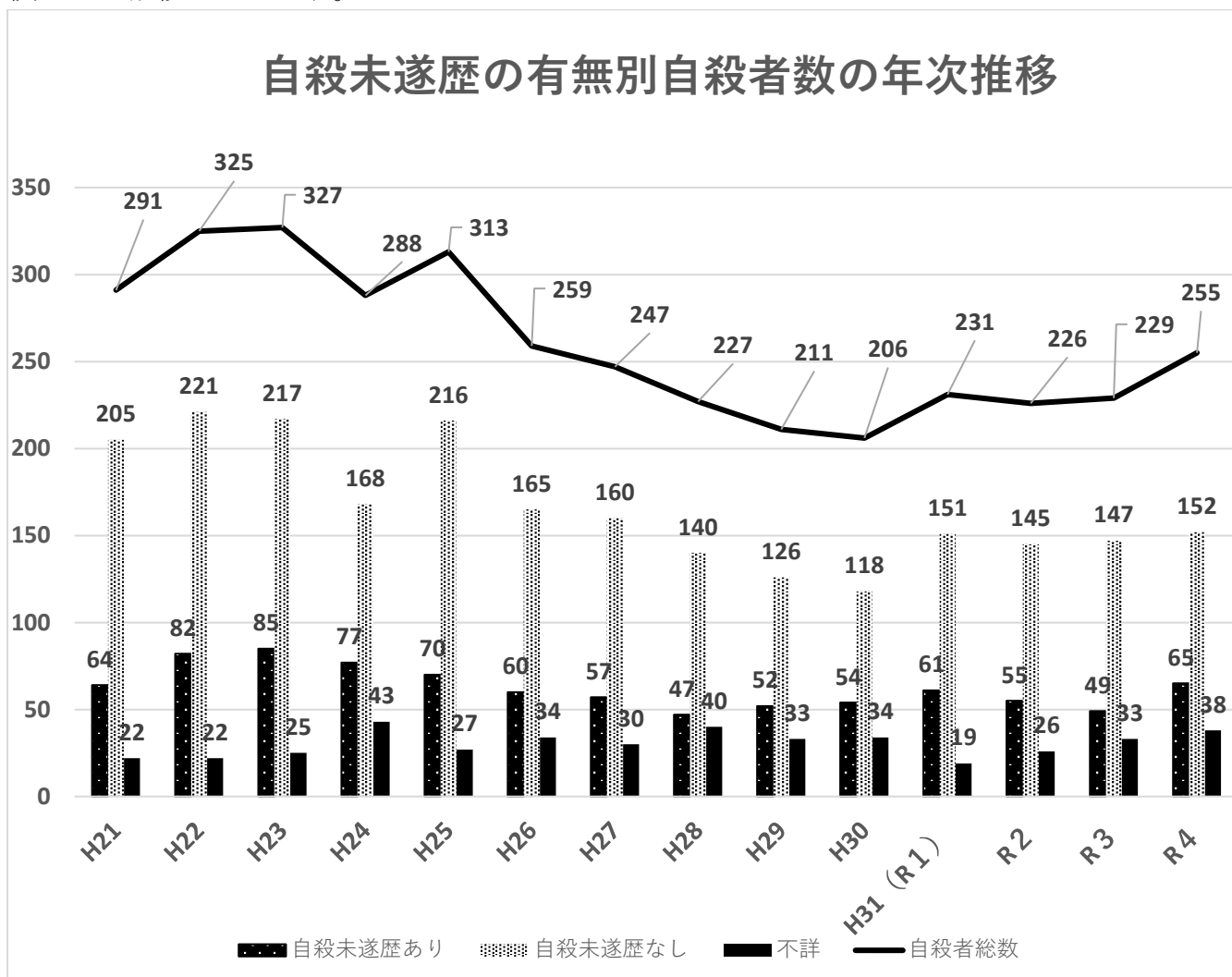
原因・動機別の自殺者数については、令和4年より原因・動機を最大4つまで（令和3年までは3つまで）計上しています。原因・動機別でみると、多い順に健康問題、経済・生活問題、家庭問題となっています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 自殺未遂歴の有無別自殺者数の年次推移

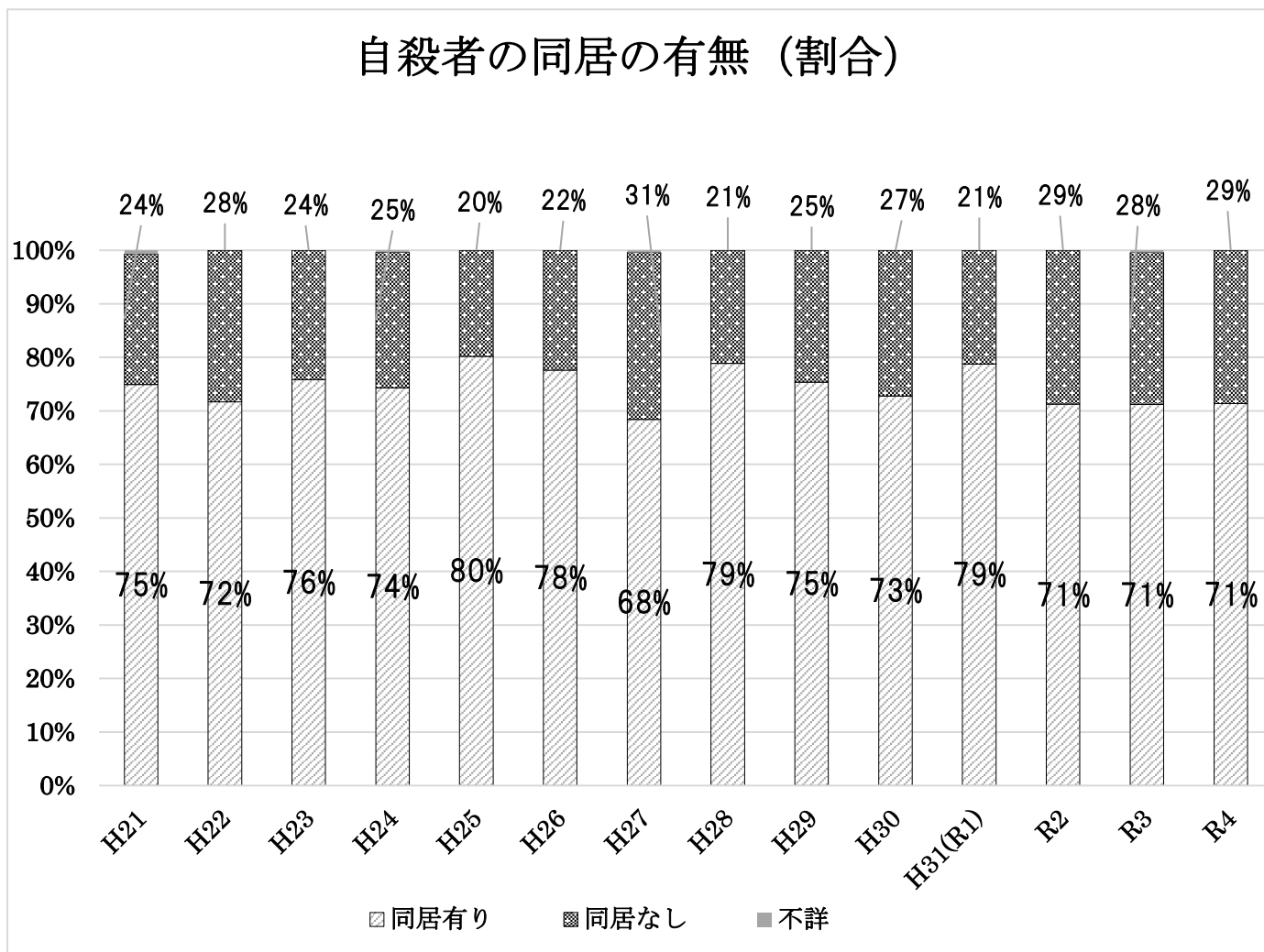
自殺者数における自殺未遂歴ありの人は、平成 23 年のピーク時より減少していましたが、近年横ばいで推移しています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 自殺者の同居の有無

自殺者における同居の有無の割合をみると、同居有りが70%を占めています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成